

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

M16C/64 グループ

シリアル I/O 動作(クロック同期形シリアル I/O モードの受信)

1. 要約

クロック同期形シリアルI/Oモードの受信では、表 1 に示す項目の中から機能を選択できます。ここでは、表 1 に示す項目の中で、“○”印の内容を選択した場合の動作について説明します。

2. はじめに

この資料で説明する応用例は、次のマイコン、条件での利用に適用されます。

- ・マイコン : M16C/64 グループ

M16C/64 グループと同様の SFR(周辺機能制御レジスタ)を持つ他の M16C ファミリでも本プログラムを使用することができます。ただし、一部の機能を機能追加等に変更している場合がありますのでマニュアルで確認してください。このアプリケーションノートをご使用に際しては十分な評価を行ってください。

3. 設定内容

表 1. 設定内容

設定項目	設定内容		設定項目	設定内容	
転送クロック ソース		内部クロック (f1SIO/f2SIO/f8SIO/f32SIO)	連続受信モード	<input type="radio"/>	禁止
	<input type="radio"/>	外部クロック (CLKi 端子)		<input type="radio"/>	許可
$\overline{\text{RTS}}$ 機能	<input type="radio"/>	$\overline{\text{RTS}}$ 機能許可	転送クロック複数 端子出力機能(注 1)	<input type="radio"/>	なし
	<input type="radio"/>	$\overline{\text{RTS}}$ 機能禁止		<input type="radio"/>	あり
CLK 極性	<input type="radio"/>	転送クロックの立ち上がりで 受信データ入力	シリアルデータ論理	<input type="radio"/>	反転なし
	<input type="radio"/>	転送クロックの立ち下がり で受信データ入力		<input type="radio"/>	反転あり
転送 フォーマット	<input type="radio"/>	LSB ファースト	TxD, RxD 入出力極性 切り替え機能	<input type="radio"/>	反転なし
	<input type="radio"/>	MSB ファースト		<input type="radio"/>	反転あり

注 1. UART1 を内部クロックで使用するときだけ選択できます。この機能選択時、UART1 の $\overline{\text{CTS}}$ / $\overline{\text{RTS}}$ 機能は使用できません。UART1 の $\overline{\text{CTS}}$ / $\overline{\text{RTS}}$ 禁止ビットを “1” にしてください。

4. 動作

(1) UARTi 送信バッファレジスタにダミーデータを書き込み、受信許可ビットを “1”、送信許可ビットを “1” にすると、受信できる状態になります。同時に、 $\overline{\text{RTSi}}$ 端子の出力が “L” レベルになり、受信できる状態になったことを送信側に知らせます(送信側の IC では、 $\overline{\text{RTS}}$ 出力が “L” レベルになったことを確認した後、転送クロックを出力してください)。

(2) 最初の転送クロックの立ち上がりエッジに同期して、RxDi 端子の入力信号を UARTi 受信レジスタの最上位ビットに取り込みます。そして、転送クロックの立ち上がりエッジに同期して、UARTi 受信レジスタの内容を右にシフトしながらデータを取り込みます。

(3) UARTi 受信レジスタに 1 バイトのデータが揃うと、UARTi 受信レジスタの内容は UARTi 受信バッファレジスタに転送されます。また、転送クロックは “H” レベルで停止します。同時に、受信完了フラグと UARTi 受信割り込み要求ビットが “1” になります。

(4) 受信完了フラグは UARTi 受信バッファレジスタの下位バイトを読み出したとき “0” になります。

図 1 に動作タイミングを示します。

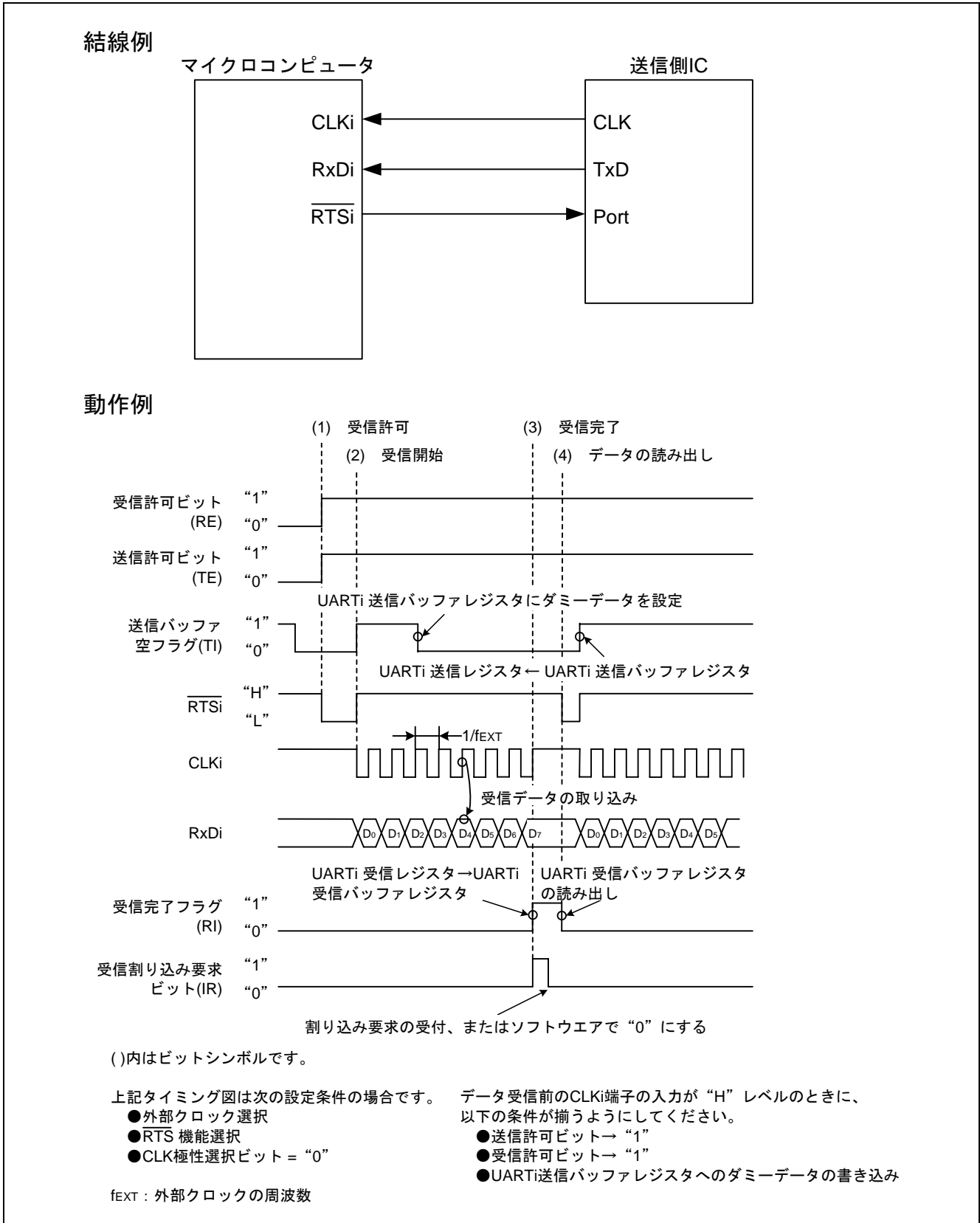
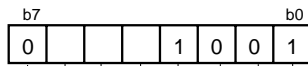


図 1. クロック同期形シリアル I/O モードの受信動作タイミング

5. 設定手順

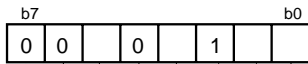
UART_i送受信モードレジスタの設定 (i = 0~2, 5~7)



UART0送受信モードレジスタ	【0248h番地】	U0MR
UART1送受信モードレジスタ	【0258h番地】	U1MR
UART2送受信モードレジスタ	【0268h番地】	U2MR
UART5送受信モードレジスタ	【0288h番地】	U5MR
UART6送受信モードレジスタ	【0298h番地】	U6MR
UART7送受信モードレジスタ	【02A8h番地】	U7MR

- “001” を設定してください
- 内/外部クロック選択ビット
1 : 外部クロック
- クロック同期形シリアルI/Oモードでは無効
- クロック同期形シリアルI/Oモードでは無効
- クロック同期形シリアルI/Oモードでは無効
- スリープ選択ビット
クロック同期形シリアルI/Oモードでは“0”を設定してください

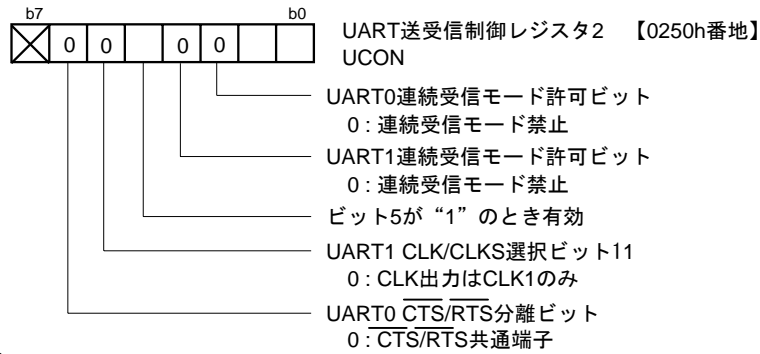
UART_i送受信制御レジスタ0の設定 (i = 0~2, 5~7)



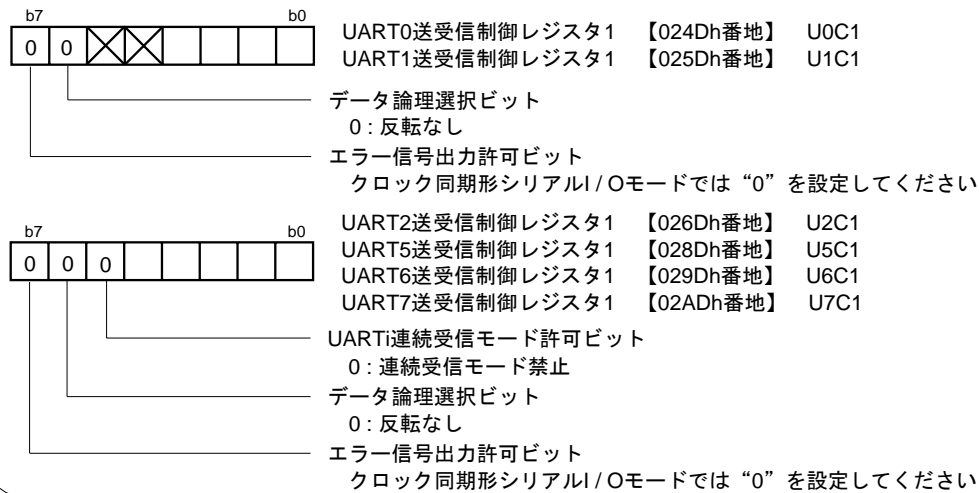
UART0送受信制御レジスタ0	【024Ch番地】	U0C0
UART1送受信制御レジスタ0	【025Ch番地】	U1C0
UART2送受信制御レジスタ0	【026Ch番地】	U2C0
UART5送受信制御レジスタ0	【028Ch番地】	U5C0
UART6送受信制御レジスタ0	【029Ch番地】	U6C0
UART7送受信制御レジスタ0	【02ACh番地】	U7C0

- UiBRGカウントソース選択ビット
 - b1 b0
 - 0 0 : f1sioまたはf2sioを選択
 - 0 1 : f8sioを選択
 - 1 0 : f32sioを選択
 - 1 1 : 設定しないでください
- CTS/RTS機能選択ビット(ビット4が“0”のとき有効)
 - 1 : RTS機能を選択
- 送信レジスタ空フラグ
 - 0 : 送信レジスタにデータあり(送信中)
 - 1 : 送信レジスタにデータなし(送信完了)
- CTS/RTS禁止ビット
 - 0 : CTS/RTS機能許可
- データ出力選択ビット
 - 0 : TXDi/SDAi、SCLi端子はCMOS出力
 - 1 : TXDi/SDAi、SCLi端子はNチャネルオープンドレイン出力
- CLK極性選択ビット
 - 0 : 転送クロックの立ち下がりで送信データ出力、立ち上がりで受信データ入力
- 転送フォーマット選択ビット
 - 0 : LSBファースト

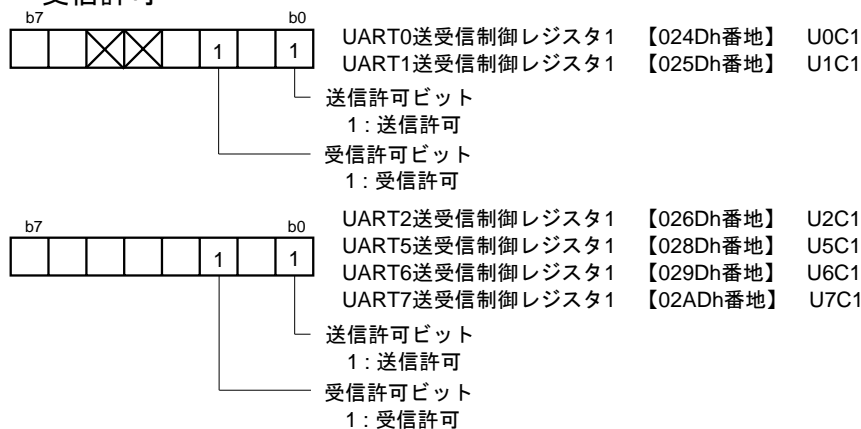
UART送受信制御レジスタ2の設定



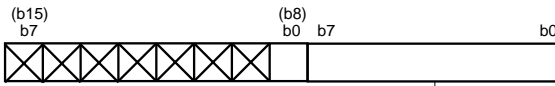
UART_i送受信制御レジスタ1の設定 (i = 0~2, 5~7)



受信許可



ダミーデータの書き込み

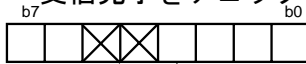


UART0送信バッファレジスタ	【024Bh, 024Ah番地】	U0TB
UART1送信バッファレジスタ	【025Bh, 025Ah番地】	U1TB
UART2送信バッファレジスタ	【026Bh, 026Ah番地】	U2TB
UART5送信バッファレジスタ	【028Bh, 028Ah番地】	U5TB
UART6送信バッファレジスタ	【029Bh, 029Ah番地】	U6TB
UART7送信バッファレジスタ	【02ABh, 02AAh番地】	U7TB

ダミーデータを設定

受信開始

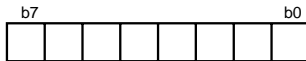
受信完了をチェック



UART0送受信制御レジスタ1	【024Dh番地】	U0C1
UART1送受信制御レジスタ1	【025Dh番地】	U1C1

受信完了フラグ

- 0: 受信バッファレジスタにデータなし
- 1: 受信バッファレジスタにデータあり

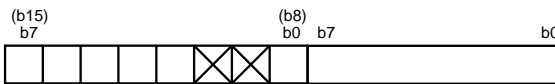


UART2送受信制御レジスタ1	【026Dh番地】	U2C1
UART5送受信制御レジスタ1	【028Dh番地】	U5C1
UART6送受信制御レジスタ1	【029Dh番地】	U6C1
UART7送受信制御レジスタ1	【02ADh番地】	U7C1

受信完了フラグ

- 0: 受信バッファレジスタにデータなし
- 1: 受信バッファレジスタにデータあり

エラーチェック



UART0受信バッファレジスタ	【024Fh, 024Eh番地】	U0RB
UART1受信バッファレジスタ	【025Fh, 025Eh番地】	U1RB
UART2受信バッファレジスタ	【026Fh, 026Eh番地】	U2RB
UART5受信バッファレジスタ	【028Fh, 028Eh番地】	U5RB
UART6受信バッファレジスタ	【029Fh, 029Eh番地】	U6RB
UART7受信バッファレジスタ	【02AFh, 02AEh番地】	U7RB

受信データ

オーバランエラーフラグ

- 0: オーバランエラーなし
- 1: オーバランエラー発生

受信データ読み出し後の処理

6. 参考ドキュメント

ハードウェアマニュアル

M16C/64 ハードウェアマニュアル

(最新版をルネサス テクノロジホームページから入手してください。)

7. ホームページとサポート窓口

ルネサス テクノロジホームページ

<http://japan.renesas.com/>

M16C ファミリー MCU 技術サポート窓口

<http://japan.renesas.com/inquiry>

csc@renesas.com

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2008.06	-	初版発行

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

本資料ご利用に際しての留意事項

1. 本資料は、お客様に用途に応じた適切な弊社製品をご購入いただくための参考資料であり、本資料中に記載の技術情報について弊社または第三者の知的財産権その他の権利の実施、使用を許諾または保証するものではありません。
2. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズムその他応用回路例など全ての情報の使用に起因する損害、第三者の知的財産権その他の権利に対する侵害に関し、弊社は責任を負いません。
3. 本資料に記載の製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的、あるいはその他軍事用途の目的で使用しないでください。また、輸出に際しては、「外国為替および外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、それらの定めるところにより必要な手続を行ってください。
4. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズムその他応用回路例などの全ての情報は本資料発行時点のものであり、弊社は本資料に記載した製品または仕様等を予告なしに変更することがあります。弊社の半導体製品のご購入およびご使用に当たりましては、事前に弊社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、弊社ホームページ (<http://www.renesas.com>) などを通じて公開される情報に常にご注意ください。
5. 本資料に記載した情報は、正確を期すため慎重に制作したものです。万一本資料の記述の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、弊社はその責任を負いません。
6. 本資料に記載の製品データ、図、表などに示す技術的な内容、プログラム、アルゴリズムその他応用回路例などの情報を流用する場合は、流用する情報を単独で評価するだけでなく、システム全体で十分に評価し、お客様の責任において適用可否を判断してください。弊社は、適用可否に対する責任を負いません。
7. 本資料に記載された製品は、各種安全装置や運輸・交通用、医療用、燃焼制御用、航空宇宙用、原子力、海底中継用の機器・システムなど、その故障や誤動作が直接人命を脅かしあるいは人体に危害を及ぼすおそれのあるような機器・システムや特に高度な品質・信頼性が要求される機器・システムでの使用を意図して設計、製造されたものではありません（弊社が自動車用と指定する製品を自動車に使用する場合を除きます）。これらの用途に利用されることをご検討の際には、必ず事前に弊社営業窓口へご照会ください。なお、上記用途に使用されたことにより発生した損害等については弊社はその責任を負いかねますのでご了承願います。
8. 第7項にかかわらず、本資料に記載された製品は、下記の用途には使用しないでください。これらの用途に使用されたことにより発生した損害等につきましては、弊社は一切の責任を負いません。
 - 1) 生命維持装置。
 - 2) 人体に埋め込み使用するもの。
 - 3) 治療行為（患部切り出し、薬剤投与等）を行うもの。
 - 4) その他、直接人命に影響を与えるもの。
9. 本資料に記載された製品のご使用につき、特に最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件およびその他諸条件につきましては、弊社保証範囲内でご使用ください。弊社保証値を越えて製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、弊社はその責任を負いません。
10. 弊社は製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、特に半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。弊社製品の故障または誤動作が生じた場合も人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないよう、お客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計などの安全設計（含むハードウェアおよびソフトウェア）およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特にマイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
11. 本資料に記載の製品は、これを搭載した製品から剥がれた場合、幼児が口に入れて誤飲する等の事故の危険性があります。お客様の製品への実装後に容易に本製品が剥がれることがなきよう、お客様の責任において十分な安全設計をお願いします。お客様の製品から剥がれた場合の事故につきましては、弊社はその責任を負いません。
12. 本資料の全部または一部を弊社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断りいたします。
13. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせ、その他お気付きの点等がございましたら弊社営業窓口までご照会ください。

D039444